

環境教育・啓発

従業員一人ひとりの環境保全の意識向上と実行促進のためには、継続的かつ繰り返しによる教育が必須であるとの認識から、全従業員を対象としてさまざまな環境教育・啓発を行っています。

環境教育

環境教育に関する全社共通規格である「環境教育実施規定」に基づき、実施しました。

技術教育

共通講座

- 環境に配慮した製品設計法 1回、19名
- 製造部門での環境負荷低減 1回、25名

部門別講座(環境管理部門)

- 新任工場長/環境管理部門の新任幹部社員コース 3回、21名
 - 環境管理部門の新任者コース 1回、11名
 - 環境管理部門の中堅者コース 1回、7名
- 計7回、83名

一般教育

共通教育

- 幹部社員教育 1回、118名
 - 中堅社員教育 1回、190名
 - 新入社員教育・通年採用者教育 12回、1,131名
- 計14回、1,439名

なお、営業部門対象の講座については、1999年度に引き続き実施に向けて検討しています。



環境に配慮した製品設計法講座

全社遠隔教育システム

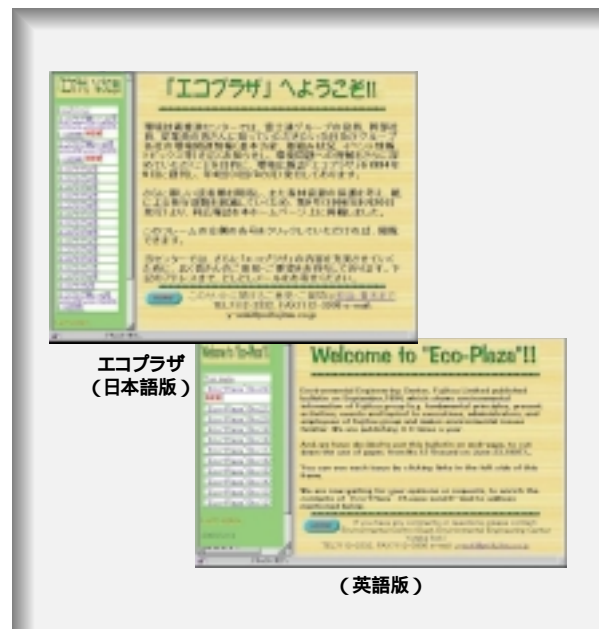
新たな取り組みとして全社遠隔教育システムを活用した講座を実施しました(製造部門での環境負荷低減法)。このシステムは、複数の遠隔教室をネットワークで結び、同時に多数の従業員が受講できるものです。

啓発活動

啓発活動の一環として、環境広報誌の発行や各種行事などを実施しました。

環境広報誌「エコプラザ」の発行

環境に関する取り組みの紹介やトピックスなどを周知する社内誌として1994年から定期的に発行しています。1999年度は社内をはじめ、国内・海外の関係会社へ向けて、第20号～第22号をイントラネットで発信しました。また、海外関係会社取り組み紹介をシリーズとして掲載しました。



エコプラザ
(日本語版)

(英語版)



環境月間行事

6月の環境月間(環境庁主唱)では、社内および国内の関係会社において、多くの従業員の参加を得て、各種行事を実施しました。

主な実施行事

- 環境講演会 計27回、1,527名参加
- 環境ビデオ上映会 計21回、1,793名参加
- 環境標語募集 応募数8,047作品
- エコキャンペーン(省エネルギー)
- その他 環境マネジメントシステム紹介コーナーの開設、ミニ環境展や環境設備見学会の開催など)

環境貢献賞

社内および国内・海外関係会社を対象に、環境保全活動に優れた成果をあげた工場、部門、個人を表彰する制度を1995年度から毎年実施しています。

1999年度は、前年度(58件)を上回る計81件(国内72件、海外9件)の応募があり、環境貢献賞5件、環境貢献奨励賞10件が選ばれ、環境本部長による表彰を実施しました。

「環境貢献賞」受賞テーマ

- 三重工場における省エネルギー・契約電力の低減
(富士通ファシリティーズ・エンジニアリング)
- 非ハロゲン系樹脂を用いたパソコン筐体の開発
(モバイルPC事業部、富士通化成、富士通研究所)
- FMVパソコンの「グリーン製品開発」
(パーソナルビジネス本部)
- 省エネルギー活動の推進による「資源エネルギー庁長官表彰」の受賞
(PFU 笠島工場)
- リサイクル活動をととしてマレーシアの自然を守る世界的な基金(世界自然保護基金)への寄付
(富士通マイクロエレクトロニクス・マレーシア)

環境フォトコンテスト

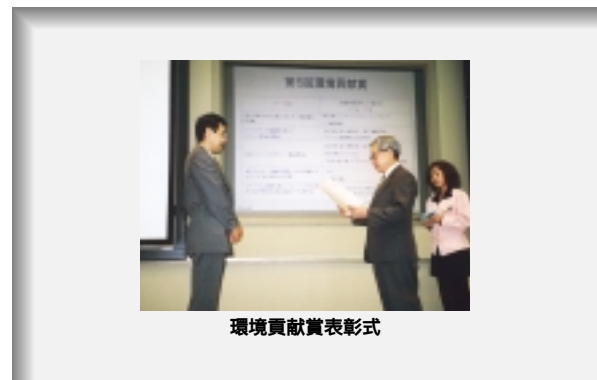
社内および国内・海外関係会社の従業員・家族を対象に、1995年度から「環境フォトコンテスト」を毎年実施しています。1999年度は、「自然保護」、「環境破壊への警告」、「地球救済」をテーマに、前年度(267件)を上回る448件(国内110件、海外338件)の応募があり、最優秀賞1件、優秀賞2件、特別賞1件、入賞5件、佳作8件が選ばれ、環境本部長による表彰を実施しました。



環境講演会(手話通訳付)



環境マネジメントシステム紹介コーナー(熊谷工場)



環境貢献賞表彰式



環境フォトコンテスト 最優秀賞
「Natural Waterfall」
(富士通マイクロエレクトロニクス・マレーシア)